

京都支部 第2期データヘルス計画について



●データヘルス計画とは

医療保険者が保有する**健診結果や医療情報(レセプト)等のデータを分析・活用**して、加入者皆様の健康づくりや重症化予防等の保健事業を効果的に推進するために作成する計画です。平成30年度から平成35年度までを第2期として策定することとされており、協会けんぽ京都支部においても、第2期のデータヘルス計画を策定しました。

計画を達成するために、**上位目標**（概ね10年以上経過後に達成を目指す目標）、**中位目標**（6年後に達成を目指す目標）、**下位目標**（上位、中位目標を達成するための、単年度で達成を目指す目標）をそれぞれ設定しています。

京都支部の健康課題および上記の目標の詳細につきましては次ページに示しております。

京都支部の健康課題

1. 京都府民の心疾患による年齢調整死亡率が全国平均より高い。(男性16位、女性11位)
2. LDLコレステロールの年齢調整平均値が全国平均値より高い(京都 125.88mg/dl 全国125.18mg/dl)
3. 特定保健指導実施率が低い(京都5.2%、全国13.3%)
4. 定期的な運動を継続し行っている者の割合が全国平均より低い。(京都 男性26.7% 女性21% 全国 男性31.2% 女性23.5%)

上位目標

心疾患の年齢調整死亡率を引き下げる

中位目標

LDLコレステロール140mg/dl以上の者の年齢調整割合を全国平均以下に引き下げる

下位目標①

特定健診受診率を65%以上とする。

- 被保険者
- 健診実施機関の拡大
 - 健診機関を対象としたインセンティブ事業の実施
- 被扶養者
- 集団健診会場の拡大
 - GISを活用した受診勧奨
 - 市区町村がん検診と同時実施
 - 事業者健診(定期健診)
 - 関係機関との連携による事業者健診データの取得

下位目標②

特定保健指導対象者のうちLDLコレステロール140mg/dl以上の者の割合(46%)を引き下げる。

- 健診当日の保健指導(初回面談)実施にむけた健診機関への働きかけ
- 外部専門機関等の活用による受け入れ勧奨
- 平成30年度以降の運用の見直しを踏まえた支援方法への移行

下位目標③

健康経営の考えのもと、職場内で運動習慣の定着にとりくむ事業所を増加させる。

- 健康宣言事業所エントリー事業所、健康経営優良法人認定制度およびきょうと健康づくり実践企業認証制度の取得事業所の拡大
- 健康宣言事業所等における運動の取り組みの拡大
- 京都府と連携し、健康経営実践トライアル(モデル事業所)事業へのコラボ

下位目標④

血圧、血糖に基づく受診勧奨二次勧奨対象者のLDLコレステロール140mg/dl以上の者の割合(45%)を引き下げる。

- 二次勧奨(重症域)の対象者の中でLDLコレステロール高値者に対して、血圧・血糖と併せた受診勧奨を行う(専門業者の電話勧奨、健診機関による受診勧奨も行う)